

ご挨拶



本市は、「歴史・文化と人がつくる交流都市」を目指すべき将来像として掲げた「檀原市第3次総合計画」の基本構想に基づき、平成20年度から5か年を計画期間とする前期基本計画を策定し、様々な施策及び事業を着実に進めてまいりました。

この間の本市を取り巻く都市環境に関する変化の大きなものとしましては、まず、道路網の整備を挙げることができます。関西国際空港へのアクセスが便利な南阪奈道路に加えて、京奈和自動車道では檀原高田～御所インターチェンジ間、中和幹線は香芝市から桜井市までの全線が開通する等、中南和の拠点都市として人・もの・情報の交流がさらに活発になってきています。また、大和八木駅周辺では、檀原三号歩行者専用道路の開通により、駅の南北がつながることで、新たな賑わいが創出されてきました。

その一方で、少子高齢社会の進展、景気・雇用情勢の悪化、生活様式の多様化等、本市を取り巻く社会情勢は大きく変化しています。

このような情勢を踏まえ、市民と行政が一体となった協働のまちづくりをさらに推進するため、前期基本計画を継承しつつ、前期5年間で実施した施策の検証を行い、現状と課題を精査した上で、平成25年度から29年度までの5か年を計画期間とする後期基本計画を策定いたしました。

この計画をもとに、本市の豊かな自然、歴史文化、産業等、地域の特性を活かし、誰もがすこやかに暮らすことができる省エネで低炭素なまちづくりを目指して、市民の皆さまとの協働により施策を進めてまいりますので、どうかご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後に、この計画の策定にあたり、大変熱心にご審議いただきました檀原市総合計画策定審議会の委員の皆さまをはじめ、市民意識調査、職員による市民インタビュー、パブリックコメント等で多くの貴重なご意見やご提言をいただきました市民の皆さま並びに関係者各位に対し、心から感謝申し上げます。

平成25年4月

檀原市長 森下 豊

